

## 令和3年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

平均正答率は全国値を全学年、上回っている。標準スコアが 50 のラインを上回っている。このことから、昨年度の授業改善推進プランが効果的に成果を上げたと考えられる。昨年度は、課題を解決するのに適した資料、情報を集める授業に取り組んだ。「観察・資料活用の技能・表現の力」を高めるために、一つの資料から必要な情報を読み取る授業や、複数の資料から読み取ったことを関連付けて考える授業を行った。

#### (2) 課題

- ・複数の資料から情報を読み取り、関連付けて考えることに引き続き、力を入れて授業を改善していく。
- ・タブレットを活用して、課題を解決するのに適した資料、情報を集める活動を引き続き設定していく。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和3年度結果	令和2年度結果
第5学年	標準スコアを上回っており、昨年度よりも伸びている。	/
第6学年	標準スコアを上回っており、昨年度よりも伸びている。	

#### (2) 分析（観点別）

4年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。	全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。	全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。

5年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。	全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。	全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。

6年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。	全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。	全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や資料の見方を理解させていく。</li> <li>・グラフを読み取る時は、何を表しているグラフなのかの確認を行ったうえで、どう変化しているかなどに注目させ、グラフの見方を理解させていく。</li> <li>・調べて分かったことを白地図や文などにまとめさせる。</li> <li>・フラッシュカードやゲームなどを使って、47都道府県名や県庁所在地、地図記号などの定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図帳を活用し、大田区や東京都の特色を考えさせたり、授業の中で出てきた地名などを確認させたりする活動を増やす。</li> <li>・授業中に出た課題を家庭学習で調べてくるように促すことで、授業で学んだことと自分の暮らしと密接に関係していることに気付かせる。</li> <li>・身の回りで調べられることは調べさせ、自分たちの生活とどのように関わっているのかを実感させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想や学習計画を立てたり、見直ししたりして、学習問題を追究し解決させる。</li> <li>・学習したことを基に、自分たちができることを考えさせる。</li> <li>・見学前に質問や疑問を出させて、調べてみたいという意欲を高めるようにする。</li> </ul>

#### (2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや地図の見方を理解し、情報を整理する力を養う。</li> <li>・グラフを読み取る力を高めるために、次の手順を習慣化していく。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. グラフのタイトル</li> <li>2. 出典と発行年</li> <li>3. 縦軸と横軸</li> <li>4. 全体の変化の傾向</li> <li>5. 変化の大きい部分</li> </ol> </li> <li>・資料を活用して調べる前に、問いについて予想したことを書かせたり、話し合わせることで「予想を確かめるために必要な資料・情報」を明らかにし、資料活用力を高めていく。</li> <li>・学習したことを新聞やノート、タブレットPCにまとめる活動を通し、知識の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことと自分を関連付けて考え、意見をもてるようにする。</li> <li>・学習したことや調べたことを新聞にまとめたり、話し合ったりすることで、資料を基に自分の主張を発表できるようにする。</li> <li>・「変化している理由や二つの資料からいえること」について、小グループで話し合う場を設定し、複数の資料から読み取ったことを関連付けて考える力を育てる。</li> <li>・「これは何のための工夫か」「どうして、〇〇はこのような政策を行ったのか」等、社会的事象の意味について発問することで、考える力を養っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の最初の授業で提示する資料を工夫して、単元を通して学習の問題を追究して解決したいという意欲を高める。</li> <li>・調べる前に、学習の問題について予想したことを書かせたり、話し合わせたりすることで、予想を確かめたいという意欲を高める。予想を確かめるために、必要な資料・情報を収集して問題を解決しようとする意欲を高める。</li> <li>・タブレットPCやICT機器を活用し、児童の興味・関心を高めるようにする。</li> <li>・自分の生活と学習した内容が密接に結び付いていることに気付かせ、意欲を高めるようにする。</li> </ul>